

# SPA300/SPA500シリーズIP Phoneでの補足サービスの設定

## 目的

セッション開始プロトコル(SIP)は、IPベースのネットワークでセッションを作成、管理、および終了するために使用されるシグナリングプロトコルです。SIPは、コール管理のメカニズムです。また、ユーザロケーションの確立と機能ネゴシエーションの提供により、セッションの参加者全員がサポートする機能について合意し、進行中にセッションの機能を変更できます。

SPA IP Phoneでは、補足サービスまたはスターサービスと呼ばれる拡張サービスが多数用意されています。これらのサービスはすべてオプションです。

この記事の目的は、SPA300/SPA500シリーズIP Phoneで補足サービスを設定する方法を説明することです。

## 該当するデバイス

- ・ SPA300シリーズIP電話
- ・ SPA500シリーズIP電話

## 回線キーLEDパターンの設定

**注：実際のSPA300またはSPA500シリーズIP Phoneでは、ナビゲーションキーを使用して[Device Administration] > [Call Control Settings] > [Signaling Protocol] > [SIP]に移動します。**

ステップ1: Web設定ユーティリティを使用して、[Admin Login] > [Advanced] > [Voice] > [Phone]を選択します。[電話]ページが開きます。

General			
Station Name:	<input type="text"/>	Station Display Name:	<input type="text"/>
Voice Mail Number:	<input type="text"/>		
BluePhone			
Bluetooth Mode:	Phone <input type="button" value="v"/>	Line:	5 <input type="button" value="v"/>
Short Name:	<input type="text"/>	User Friendly ID:	<input type="text"/>
PIN Code:	*****		
Line Key 1			
Extension:	1 <input type="button" value="v"/>	Short Name:	\$USER <input type="text"/>
Share Call Appearance:	private <input type="button" value="v"/>		
Extended Function:	<input type="text"/>		
Line Key 2			
Extension:	1 <input type="button" value="v"/>	Short Name:	\$USER <input type="text"/>
Share Call Appearance:	private <input type="button" value="v"/>		
Extended Function:	<input type="text"/>		
Line Key 3			
Extension:	1 <input type="button" value="v"/>	Short Name:	\$USER <input type="text"/>
Share Call Appearance:	private <input type="button" value="v"/>		
Extended Function:	<input type="text"/>		
Line Key 4			
Extension:	1 <input type="button" value="v"/>	Short Name:	\$USER <input type="text"/>
Share Call Appearance:	private <input type="button" value="v"/>		

ステップ2:[Supplementary Services ( 補足サービス )]領域までスクロールダウンします。

Trunk No Service LED:	<input type="text"/>	Trunk Reserved LED:	<input type="text"/>
Trunk In-use LED:	<input type="text"/>		
Supplementary Services			
Conference Serv:	yes <input type="button" value="v"/>	Attn Transfer Serv:	yes <input type="button" value="v"/>
Blind Transfer Serv:	yes <input type="button" value="v"/>	DND Serv:	yes <input type="button" value="v"/>
Block ANC Serv:	yes <input type="button" value="v"/>	Call Back Serv:	yes <input type="button" value="v"/>
Block CID Serv:	yes <input type="button" value="v"/>	Secure Call Serv:	yes <input type="button" value="v"/>
Cfwd All Serv:	yes <input type="button" value="v"/>	Cfwd Busy Serv:	yes <input type="button" value="v"/>
Cfwd No Ans Serv:	yes <input type="button" value="v"/>	Paging Serv:	yes <input type="button" value="v"/>
Call Park Serv:	yes <input type="button" value="v"/>	Call Pick Up Serv:	yes <input type="button" value="v"/>
ACD Login Serv:	no <input type="button" value="v"/>	Group Call Pick Up Serv:	yes <input type="button" value="v"/>
ACD Ext:	1 <input type="button" value="v"/>	Service Annc Serv:	no <input type="button" value="v"/>
Web Serv:	yes <input type="button" value="v"/>	SMS Serv:	yes <input type="button" value="v"/>
Ring Tone			
Ring1:	n=Cisco Synth;w=file://Cisco_synth_ring1.mp3;c=0		
Ring2:	n=Retro;w=file://ringin.726;c=1		
Ring3:	n=Office;w=file://thx-short.726;c=1		
Ring4:	n=Analog Synth;w=file://Analog1.raw;c=1		
Ring5:	n=Are You There;w=file://AreYouThereF.raw;c=1		
Ring6:	n=Chime;w=file://Chime.raw;c=1		
Ring7:	n=Clock Shop;w=file://ClockShop.raw;c=1		
Ring8:	n=Film Score;w=file://FilmScore.raw;c=1		
Ring9:	n=Koto Effect;w=file://KotoEffect.raw;c=1		
Ring10:	n=Piano;w=file://Piano2.raw;c=1		
Ring11:	n=Pulse;w=file://Pulse1.raw;c=1		
Ring12:	n=Dut-dut;w=file://Ring7.raw;c=1		

ステップ3:[Conference Serv] フィールドのドロップダウンリストから[Yes] を選択し、3方向の会議サービスを有効にします。それ以外の場合は[No]を選択します。デフォルトのオプ

シヨンは[Yes]です。

ステップ4:[Attn Transfer Serv]フィールドのドロップダウンリストから[Yes]を選択して在席コールサービスを転送します。そうでない場合は[No]を選択します。デフォルトのオプションは[はい]です。

ステップ5:[Blind Transfer Serv]フィールドのドロップダウンリストから[Yes]を選択してブラインドコールサービスを転送するか、[No]を選択します。デフォルトのオプションは[はい]です。

ステップ6:[DND Serv]フィールドのドロップダウンリストから[Yes]を選択してサイレント・サービスを有効にするか、[No]を選択します。デフォルトのオプションは[はい]です。

ステップ7:[Block ANC Serv]フィールドのドロップダウンリストから[Yes]を選択して匿名コールをブロックし、[No]を選択します。デフォルトのオプションは[はい]です。

ステップ8:[Call Back Serv]フィールドのドロップダウンリストから[Yes]を選択して折返しサービスを有効にするか、[No]を選択します。デフォルトのオプションは[はい]です。

ステップ9:[Block CID Serv]フィールドのドロップダウンリストから[Yes]を選択し、発信コールの発信者IDをブロックします。それ以外の場合は[No]を選択します。デフォルトのオプションは[はい]です。

ステップ10:[Secure Call Serv]フィールドのドロップダウンリストから[Yes]を選択してコールのセキュリティを有効にします。それ以外の場合は[No]を選択します。デフォルトのオプションは[はい]です。

ステップ11:[Cfwd All Serv]フィールドのドロップダウンリストから[Yes]を選択してすべてのコールを転送するか、[No]を選択します。デフォルトのオプションは[はい]です。

Supplementary Services			
Conference Serv:	yes	Attn Transfer Serv:	yes
Blind Transfer Serv:	yes	DND Serv:	yes
Block ANC Serv:	yes	Call Back Serv:	yes
Block CID Serv:	yes	Secure Call Serv:	yes
Cfwd All Serv:	yes	Cfwd Busy Serv:	yes
Cfwd No Ans Serv:	yes	Paging Serv:	yes
Call Park Serv:	yes	Call Pick Up Serv:	yes
ACD Login Serv:	no	Group Call Pick Up Serv:	yes
ACD Ext:	1	Service Annc Serv:	no
Web Serv:	yes	SMS Serv:	yes

  

Ring Tone	
Ring1:	n=Cisco Synth;w=file://Cisco_synth_ring1.mp3;c=0
Ring2:	n=Retro;w=file://ringin.726;c=1
Ring3:	n=Office;w=file://thx-short.726;c=1
Ring4:	n=Analog Synth;w=file://Analog1.raw;c=1
Ring5:	n=Are You There;w=file://AreYouThereF.raw;c=1

ステップ12:[Cfwd Busy Serv]フィールドのドロップダウンリストから[Yes]を選択し、通話中のコールを転送するか、[No]を選択します。デフォルトのオプションは[はい]です。

ステップ13:[Cfwd On No Ans Serv]フィールドのドロップダウンリストから[Yes]を選択し、通話中のコールを無応答で転送するか、[No]を選択します。デフォルトのオプションは[はい]

い]です。

ステップ14:[Paging Serv]フィールドリストのドロップダウンリストから[Yes]を選択してページングを有効にするか、[No]を選択します。デフォルトのオプションは[はい]です。

ステップ15:[Call Park Serv]フィールドのドロップダウンリストから[Yes]を選択してコールパークを有効にするか、[No]を選択します。デフォルトのオプションは[はい]です。

ステップ16:[Call Pick Up Serv]フィールドのドロップダウンリストから[Yes]を選択してコールピックアップを有効にするか、[No]を選択します。デフォルトのオプションは[はい]です。

ステップ17:[ACD Login Serv]フィールドのドロップダウンリストから[Yes]を選択して、コールセンターで使用されるACDログインサービスを有効にします。それ以外の場合は[No]を選択します。デフォルトのオプションは[No]です。

ステップ18:[Group Call Pick Up Serv]フィールドのドロップダウンリストから[Yes]を選択してグループコールを受信します。それ以外の場合は[No]を選択します。デフォルトのオプションは[No]です。

ステップ19:[ACD Ext]フィールドのドロップダウンリストから適切な内線番号を選択し、ACD呼び出しを処理します。使用可能な番号は1、2、3、4、5、および6です。これらの番号の下に必要な指示を設定できます。この番号は、着信コールを処理し、指示に従ってコールを管理します。デフォルトのオプションは1です。

ステップ20:[Service Annc Serv]フィールドのドロップダウンリストから[Yes]を選択し、お客様のアナウンスサーバにアナウンスメント要求を送信します。それ以外の場合は[No]を選択します。デフォルトのオプションは[No]です。

ステップ21:[Web Serv]フィールドのドロップダウンリストから[Yes]を選択してWebサーバを有効にします。それ以外の場合は[No]を選択します。デフォルトのオプションは[はい]です。

注：Web Servは、SPA525GおよびSPA525G2にのみ適用されます。

ステップ22:[SMS Serv]フィールドのドロップダウンリストから[Yes]を選択してテキストメッセージを送信するか、[No]を選択します。デフォルトのオプションは[はい]です。

注：SMS Servは、SPA525GおよびSPA525G2にのみ適用されます。

ステップ23:[Submit All Changes]をクリックして、設定を保存します。